

# インターネット利用に関する**家庭内ルール**

スマートフォン(スマホ)等のインターネット接続機器の普及によって、私たちの生活にインターネットは欠かせないものになってきました。最近、子供たちも自分のスマホを持ち、友人と連絡を取り合ったり、調べ物をしたり、ゲームで利用することも多くなってきました。一方で、インターネット上での行動がトラブルになったり、犯罪に巻き込まれるケースも絶えません。具体的にどのようなトラブル・被害があったのか、見てみましょう。

以下は、**身近に起き得る**実際にあったインターネットによるトラブルです。

<p><b>実例① スマホの使いすぎで生活に影響が...</b></p> <p>メッセージアプリで友人とのやり取り(トーク)をするのが大好きなAさん。話を終わらせるタイミングがわからず、毎日夜遅くまでスマホを使っていました。</p> <p><b>その結果</b></p> <p>夜遅い時間になっても眠れなくなり、朝起きるのもつらく、学校でも授業中眠くて集中できなくなったAさん。成績にも影響が出てきましたが、毎日の友人とのトークはやめられません。</p> 	<p><b>実例② いつの間にか高額課金! ?</b></p> <p>親のスマホを借りてゲームをしているN君。有料アイテムが欲しいときは都度親に相談し、パスワードを入力してもらって購入していました。</p> <p><b>しかし</b></p> <p>ある月に10万円以上の請求が届き、N君の親は驚きました。スマホの設定を確認すると、パスワード入力後の数分間は自由にアイテムなど購入できるように設定されていました。</p> 
<p><b>上記実例については、どのようなルール作りが効果的でしょうか</b></p>	
<p>「スマホは夜10時まで」などのルールを決める。家庭のルールであれば、友人たちにもトークのやめ時を伝えやすくなるでしょう。</p> <p>(きちんと守ったかどうかは、スマホのアプリなどを使用して確認できます)</p> 	<p>スマホで課金をしたい場合、大人がコンビニなどで手軽に買えるプリペイドカードを購入し、そのカードに入っている金額をひと月の限度額として使用させる。</p> <p>(設定によっては、アプリ内課金を無効にすることもできます)</p> 

※実例参照元 インターネットトラブル事例集(平成29年版)/総務省 総合通信基盤局 消費者行政第一課  
インターネットトラブル事例集(2020年版)/総務省 総合通信基盤局 消費者行政第一課

特にルールを設けずにスマホやインターネットを利用すると、生活習慣の乱れやお金のトラブルが起きやすくなります。

子供たちを守るために家庭内で話し合い、スマホやインターネットの扱い方についてルールを設定しましょう。学年が上がったタイミングや環境の変化に応じてルールの見直しをすることも大切です。

「**青少年インターネット環境整備法**(※1)」にはインターネットを利用させる際の保護者の責務が以下のように規定されています。

※1 青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律のこと

- ・インターネット上には**青少年に有害な情報があることを理解すること。**
- ・**利用の管理、監視を行い、使い方を教える努力をすること。**

上記責務を理解した上で、周りの大人でサポートしながら、子供たちが正しくスマホやインターネット利用ができるような環境を作っていきましょう。